



# 株式会社 フクシン



フクシンさんはファッション手袋の企画から製造、販売を行っている会社です。手袋だけでなく、靴下や帽子などさまざまな製品を手掛けています。

今回は、代表取締役社長、福崎二郎氏に脱炭素社会へ向けた取り組みについてお伺いしました。

## ①現在の取り組みについて教えてください。

当社では2020年に、人や自然、地球などにやさしい素材から作られた商品を展開するためにサステナブルなブランドを立ち上げました。再生ポリエステルや再生ウールを使用した環境に優しい商品を開発したり、片手・片足販売、永久修理保証など、さまざまな取り組みを実施しています。モノを大切に長く使っていただくことで、環境に優しい取り組みとなっています。また、2020年12月には再生可能エネルギー100%の電力受給契約を締結し、供給を開始しました。その後、会社の屋上に太陽光発電システムを設置し、2020年6月からは約25%の電気を自社発電で賄っています。



太陽光発電システムを設置している社屋屋上

## ②取り組みのきっかけについて教えてください。

最初は、インナーブランディングに力を入れ始め、社是である「明るく楽しく元気よく」を体現していける環境を整えました。その後、社外に向けて発信していくアウターブランディングを行っていく中で、自社ブランドを確立していきました。しかし、その自社ブランドをつくるための、機械を動かす電気が二酸化炭素を排出するのは環境に良くないのではないかという声が社内からあがってきたことで、再生可能エネルギー100%の電力受給契約を行いました。

※インナーブランディング・・・自社の企業理念や価値を定義し、社員に対して浸透と共感を促す活動のこと。

※アウターブランディング・・・社外に向けて自社ブランドを訴求していくこと。



サステナブルブランド「ecuvo,」

### ③取り組みの影響や効果などはどうでしたか。

まず、最近の若い人たちはSDG sに対する意識が高い人が多くいるように思います。そのため、SDG sを推進している会社として知ってもらい、関心を持っていただくことも増え、良い人材の確保につながっています。

### ④今後の予定について教えてください。

当社では、変えられるものを少しずつからでも変えていこうと考えています。例えば、アクリルを使用している糸も天然由来のものに変更したり、商品をディスプレイするときのフックを植物由来のポリ乳酸を使用したものなどに変更していきたいです。私たちは寒い冬がないとビジネスは成り立ちません。近年の地球温暖化は私たちにとって他人事ではありません。できることから始めたいと思います。

## Interview



### ⑤これから、取り組みをしようと思っている事業者へのアドバイスなどがありますか。

最近、どこの事業者も脱炭素に向けたさまざまな取り組みをしているかと思います。

そういった中でも、まずは、一人一人が小さなことからでも1つ1つできること（例えば、マイボトルを使用したり、ごみ拾いをするなど）を始めてほしいと思います。私たちは日本の四季というものを未来を担う子どもたちにバトンタッチしていかなければなりません。そのためにも、今、地球に住まわしてもらっている一人一人ができることを考え、行動して欲しいと思います。

## 福崎二郎(ふくざき じろう) さん

株式会社 フクシン  
代表取締役社長

所在地

株式会社 フクシン

〒769-2705 香川県東かがわ市白鳥 78-1